

ボーリング柱状図

調査名 平尾霊園地質調査(その2)業務委託

ボーリングNo 1

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	平尾霊園地質調査(その2)業務委託		調査位置	福岡市南区平和4丁目地内			北緯	33° 33' 35"			
発注機関	福岡市住宅都市局みどりのまち推進部みどり整備課			調査期間	平成 24年 10月 8日 ~ 24年 10月 9日			東経	130° 23' 57"		
調査業者名	株式会社エムアイティー 電話(092-565-7908)		主任技師	伊佐 学		現場代理人	内藤 宏		ボーリング責任者	内藤 宏	
孔口標高	KBM +41.02m		角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	
総掘進長	7.00m		度			使用機種	YBM-05		ハンマー落下用具		
						エンジン			ポンプ		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験 (掘進月日)
										深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深 度 (m)	深 度 (m)				
40.72	0.30	0.30		埋土、シルト質砂混り粘土	暗茶濁			深度0.30m付近までシルト質砂混り粘性土が主体。この間は含水量が多くかなり軟弱。また、腐植物が多く混る。	10/8 0.70	1.15	4	1	1	6/30	6			
39.52	1.20	1.50		埋土、粘土混り砂	暗灰、黄濁			深度0.30m~1.50mは粘土混り砂で全体に粗粒質砂が主体。また深度0.20m~0.45mには礫径5mm~30mmの礫が不均一にかなり多く混じる。また深度0.95m~1.50m間は粘土が多く混り、含水量も多くかなり緩い。		1.45	1	1	1	1/35	1			
36.52	3.00	4.50		埋土、粘土	黄灰、暗青灰、黄灰			深度1.50m~1.60m間は腐植物混り粘性土。この間含水量が多く、シルト分及び腐植物が多く混じる。深度1.60m~2.00m間は礫混り粘性土。この間には、礫径5mm~25mm程度の礫が混る。		2.00	1	2	1	4/30	4			
35.32	1.20	5.70		埋土、粘土	黄灰			深度2.00m~3.00m間は砂混り粘性土でかなり軟弱。この間含水量はやや多く、全体に砂分が若干混る。		2.35	1	1	2	4/30	4			
34.02	1.30	7.00		粘土混り砂礫 礫混り砂岩	黒濁 淡茶、黄濁			深度3.0m付近から含水量は中位で、粘性は強いものやや堅くなる。含水量はやや多く、粘土分が非常に多く混る。砂分は粗粒質砂が主体。礫分は礫径5mm~30mm程度の砂岩質礫が非常に多く混る。全体に粗粒質砂岩。強風化~中風化を受け、部位によっては所々に粘土化がみられる。また、所々に礫径5mm~25mm程度の礫がみられる。		3.15	1	1	2	4/30	4			
										3.45	1	2	1	4/30	4			
										4.15	1	2	1	4/30	4			
										4.45	3	4	4	11/30	11			
										5.15	21	29		50/20	75			
										5.45	50			50/10	150			
										6.15								
										6.35								
										7.05								
										7.15								

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。